

第 11 回 新花巻図書館整備基本計画試案検討会議 会議録

- 1.開催日時 令和4年9月1日(木) 午後2時～3時50分
- 2.開催場所 生涯学園都市会館(まなび学園) 3階 第2・3中ホール
- 3.出席者 委員出席者18名 堀合範子委員、熊谷恵委員、小国朋身委員、山下牧子委員、白岩拓樹委員、藤井公博委員、松田治樹委員、佐々木史昭委員、高橋一矢委員、前野祐子委員、福盛田弘委員、佐藤敦士委員、高橋美香委員、佐藤恒委員、小山田厚委員、梅原奈美委員、平澤広委員、市川清志委員
欠席委員2名 菊池桂委員、佛川恒明委員
専門家1名 富士大学 早川光彦教授
事務局7名 新花巻図書館計画室 佐々木室長、高橋次長、菊池主任主査、高橋上席主査、多田主査、幅下主査、小田島主任
- 4.報道機関 なし
- 5.傍聴者 1名
- 6.会議内容

事務局(佐々木室長)

若干早いんですけども、皆さんお揃いになっておりますので、本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

ただいまから新花巻図書館整備基本計画試案検討会議の第11回目の会議を開会いたします。

会議を始めるにあたりまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

本日の資料ですけども、次第、名簿のほかに事前にお送りさせていただいておりました資料1ということで「新花巻図書館整備検討状況について(案)」というもの。それから資料2としまして「試案検討会議における建設候補地選定に係る意見一覧」というものになります。資料につきましては、それぞれ準備しておりますので、本日お持ちでないという方につきましてはお申し出いただければと思います。

また、今回につきましては、いつもどおり議事録を作成しておりますので、ご発言の際につきましてはマイクを使用していただくということで重ねてお願い申し上げます。

それでは開会にあたりまして、この会議の座長であります市川生涯学習部長よりご挨拶申し上げます。

座長

皆さん、こんにちは。

今日は天気の良い中、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。

また、今日は防災の日ということでニュースでやっておりますけれども、まさに日頃から

少し、すぐに忘れてしまうものですから、やはり東日本大震災を思い出しつつも注意をしていかなければいけないと、ニュースを見て認識をしたところであります。

コロナウイルスにつきましても、少し減ってきたかなという感じにはなっておりますけれども、まだまだ高いレベルでありまして、どのようになるかちょっとわからない中ではありますが、かなり身近に感染者が出てきているような状況を私も感じますので、皆様も十分に注意いただいて日頃の感染対策を取っていただけるようお願いしたいというふうに思います。

明日から市議会が始まります。9月の議会でありまして、新しい市議会議員の皆様方による議会になりますが、図書館につきましては3名の方から一般質問をいただいております。関心は高いと思っております。そういう中で試案検討会議の状況などもしっかりとご説明し、議員の皆様方もそうですが、テレビあるいはインターネットでも中継されていますので、市民の皆様にもしっかりご報告をしていきたいというふうに思っております。

今日は前回ご提案いたしました建設候補地についての説明会を開始したいというようにすることについて資料を事前にお配りしましたが、議論いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局(佐々木室長)

ありがとうございます。

それでは早速議事のほうに入らせていただきたいと思います。

これ以降、議事の進行につきましては、この会議の座長であります市川生涯学習部長にお願いします。

座長

それでは、以後は私が進行いたします。

最初に確認であります。いつも確認しておりますが、本会議は原則公開としております。非公開にしたほうがよいというような委員の方がおいでであれば非公開にするということになっておりますが、公開でよろしいでしょうか。

(会場から「はい」という声あり)

座長

それでは公開で進めたいと思います。

それでは本日検討していただく内容について事務局から説明をお願いいたします。

事務局(佐々木室長)

それではお手元にあります資料などについての説明になるかと思えます。

7月12日に開催しました第10回の検討会議の中で、市としましては花巻駅前のJR所有

のスポーツ用品店の場所を、これを第一候補地としまして、当該土地の買収条件などについて JR 東日本と交渉するということにつきまして、市民の意見を伺う説明会を開くということについて提案をさせていただきました。

委員の皆様からは、その時点では反対のご意見はなかったものというふうにご考えてございます。

そこで今回の会議につきましては、事務局のほうで作成いたしました市民説明会の資料につきまして、皆様から意見を頂戴いたしまして、さらに資料に反映させていただくというところを伺っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

資料内容の説明につきましては、事前に送付させていただいているということもありますので、大変恐れ入りますが、概要のみの説明とさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

それでは資料 1 から、事務局・高橋のほうから説明をさせていただきます。

事務局(高橋次長)

事務局の高橋でございます。

着座にて説明させていただければと思います。

では資料 1 から説明させていただきます。

まず 4 ページをお開き願います。

下のところ、中央のところにページ数を入れておりましたのでご確認いただければと思いますが、4 ページから 5 ページは新花巻図書館整備の検討経過として、新花巻図書館整備基本構想の策定からワークショップ等の実施、現在実施している試案検討会議までの流れを説明させていただき、試案検討会議でどのようなことを検討されたかを記載しております。

次に 6 ページをお開きください。

6 ページは新花巻図書館整備基本構想に基づき、基本計面試案に関する新花巻図書館の 3 つの基本方針を記載しております。3 つにつきましてはそのとおりですので読み上げませんが、よろしくご確認いただければと思います。

次に 7 ページをお開きください。

7 ページから 10 ページは、新花巻図書館で行うサービスについて基本的な考え方、提供するサービスの種類、利用者の視点にそったサービスの種類について、それぞれ試案より一部抜粋して記載しております。それぞれ細かい部分、こちらにつきましてはご議論いただきました内容ですのでご確認いただければと思いますが、この部分がどのような図書館になるかという部分になるかと思っております。

次に 11 ページをお開きください。

11 ページから 14 ページまでは、新花巻図書館の中央館としての役割について、そして現在、現花巻図書館とも検討しております新花巻図書館の蔵書構成の検討状況や、開館後の運営コストの見込みについて記載しております。

なお、4 ページから 14 ページまでは第 8 回の試案検討会議で、委員の皆さんにご承認していただき反対の意見はなかったものとして、図書館のサービスと機能についてということとでまとめさせていただいております。

一旦、以上でございます。

座長

それでは、これまでの説明について何か質問、ご意見ありますでしょうか。

はい、白岩委員。

白岩委員

白岩です。

確認なんですけど、この資料を市民説明会で配布して、これで説明するというのでいいんですか。

事務局(高橋次長)

はい。こちらの資料は、今回はまだ案となっておりますので、この会議で委員の皆様からご意見をいただいて、その内容を反映させたものを市民説明会で説明資料として提供させていただきたいと考えております。

白岩委員

これをまた変えられるんですか。

すばらしい資料だと思うのですが、量が多くて初めて見る市民の方にとって情報量が多いんじゃないかなと思います。例えば 7 ページですね。7 ページの、例えば 8 番とか。方針の文言と同じ文言とかも入っていますので重なっているから、方針の内容とサービスの基本がごちゃごちゃになっているから、もっと整理して。例えばレファレンスを充実させるという 1 項目にして、あとは小見出し、小見出しでまとめれば 6 つぐらいに内容がまとまると思うんです。12 個もあれば、方針の内容が重複しているのもあれば、設備に関するものもあるので、ちょっとごちゃごちゃしているので、それをきれいにわかりやすく、なるべく短くわかりやすくまとめて説明したほうが、まとめたほうがいいんじゃないかなと私は思います。

以上です。

わかりましたでしょうか、言っていることが。

事務局(高橋次長)

はい。白岩委員のご意見につきましては、事務局としては案としてこの資料を出しておりますが、できるだけどのような検討をしたかということをも市民に皆様に説明させていただくためにちょっと具体的に書いております。省略してしまうと、字では読み取れない部分が

あるかという不安もございましたので、このように書いておりますが、ご意見として賜って、対応できる部分については検討してまいりたいと思います。

白岩委員

あともう1つですね、昨日、実は紫波図書館の誕生10周年イベントというのに行ってきた、その中でトークイベントとか聞いたんですけど、20年前にあそこは大体計画されたんですが、そのとき町民の方は、そこは紫波図書館は初めて図書館をつくるので、図書館なんか知らないんじゃないかな、という町民の意見が多かったらしくて、今でいったら、花巻の今の場合に例えたら、石鳥谷と東和と大迫にもうすでに図書館があるので、わざわざ中央図書館、税金を使って中央図書館なんかわざわざいないという近所の方とかの意見を私はよくもらうんですよ。だから、中央図書館のメリットはやっぱり中央図書館機能。花巻市の中の図書館とか、いろんな文化設備、あとは県外、国の図書館とのネットワークの中核、ハブ空港みたいな中核であるというメリットをもうちょっとこの計画の中に入れて、大迫とか遠い方でもメリットがありますよ、というのをもっと強調して書いて、そういう工夫が必要じゃないかなと私は、そういう説明とかこの概要をつくるのであれば、基本計画でもそうですけれども、そういうふうに工夫はしたほうがいいんじゃないかなと思います。以上です。

事務局(佐々木室長)

すみません、私のほうからお答えさせていただきますけれども、11ページのところに中央館の役割と機能ということで、ネットワークとかそういった部分も記載しているつもりではあるんですけども、具体的に何が足りないという案はありますか。

白岩委員

図にして中央に中央図書館があって、その図の中で中央図書館と線を結ぶ、富士大学とか大学と線を結ぶ。あと国会図書館とか県内の図書館と線を結ぶ。そういう図で描くとか、その中核に中央図書館があるという感じで、目に見やすい感じで。こう文章で書いてもなかなかイメージできないと思うので、図で描いたほうがいいんじゃないかなと思いました。

事務局(佐々木室長)

ご意見はなるべく考えたいと思う部分はあるんですけども、先ほどの話の中でボリュームが多いのじゃないかというお話がございました。そういったことを考えますと、今こうやってまとめているものにまたさらに追加するというのはなかなか難しいのじゃないかという部分もありまして、そこについてはそういった部分も合わせながら事務局のほうで考えていきたいと思っています。

白岩委員

よろしく申し上げます。

座長

はい、ありがとうございます。
今のご意見に関係してもいいですし。
福盛田委員。

福盛田委員

今、7ページのサービスの基本の部分なんですけど、やはり私たちはいろいろ検討してきて内容がわかってきているので、この辺の部分では大丈夫だと思いますが、初めて説明を受ける方はこのぐらいの説明をしないとちょっとだめじゃないかなと思います。この内容は今までいろんな検討会でまとめたところ、いろんな意見を集約してそれでまとめているので、この辺の基本の部分で説明を求めたいと思います。以上です。

座長

はい、ありがとうございます。
ほかにはご意見、ご質問。
熊谷委員。

熊谷委員

熊谷です。
先ほどの白岩委員の言葉の中に、中央図書館はいらんんじゃないか、というようなことをおっしゃっている人がいるというふうに私はちょっと聞き取れたのですが、そうですか？

白岩委員

私が聞いた限りでは、例えば花巻市内から遠い方はわざわざ中央図書館に、中央図書館という言い方はあれですが、花巻図書館、今以上に大きくする必要はないんじゃないかなという意見が。うちの家族でも父親や母親は図書館に行かないのでいらんというようなことを言っています。そういうことを私自身はよく聞いています。

熊谷委員

そうすると、そういうご意見の方もいらっしゃるかとは思いますが、今の現在の花巻図書館自体がもう老朽化していて、これを建て直さなければならぬというところから私は発車しているんじゃないかなと思うんですけども、それをそのままにいらぬ、というのは。これからそういう方々にもきちんとお話をしていられることになるとは思いますけれども、東和、大迫、石鳥谷、その3つに図書館は確かにありますけれども、これが完全にすばらしい、もうほかにいらぬという図書館だとは私は思っておりません。そこで、花巻

図書館を中央図書館の位置にするということでも今までずっと進んできたのではないかなと思うのですが、ちょっとそここのところで私は「えっ？」と考えました。

座長

はい、ありがとうございます。

ご意見として伺います。

ほかにありませんでしょうか。

はい、山下委員。

山下委員

私は 27 ページの最後の部分で、建設候補地に関する意見の集約というところで。

座長

すみません、まだ 27 までいってなくて、14 ページのところまでです。

山下委員

すみません、一番最後なんですね。

座長

次をご説明いたしますので、ちょっと待っていただいてもいいですか。

山下委員

はい。

座長

ではほかに今までの、14 ページまでの中でありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では先に進みたいと思います。

事務局(高橋次長)

では引き続きご説明させていただきます。

15 ページをお開き願います。

15 ページから 25 ページまでは第 8 回の試案検討会議で説明させていただきました内容を時点修正したものになります。

15 ページは建設候補地を比較するための基礎データの項目設定のため、新花巻図書館整備基本構想における建設場所の基本方針を記載しております。なお時点修正として立地適正化計画の説明および都市機能誘導区域の説明。こちらは市民の皆さんに対してわかりや

すくするために用語の説明として記載させていただいておりますし、それによって得られる補助金の概要についても追加しております。

16 ページも検討するために必要な条件でありました花巻市議会新花巻図書館整備特別委員会の提言をまとめております。

17 ページから 22 ページは委員の皆さんに検討していただくために整理した 2 つのエリア。まなび学園周辺と JR 花巻駅周辺のエリア、7 つの候補地について比較項目データと特記事項を整理しております。大きな時点修正はございませんが、まなび学園周辺の配置図内、史跡花巻城跡の濁御堀低面部の説明を追記させていただいております。

23 ページから 25 ページまでは、総合花巻病院跡地に関することとして、解体工事等のこと、市指定花巻城跡のこと、市道整備に関することについて記載しております。こちらの時点修正としては市道整備に関することで、①現道への歩道整備において、第 8 回の試案検討会議では、周辺住民の理解が必要であると説明させていただきましたが、その後、住民説明会において理解を得ましたことから、今年度測量設計を実施することに修正しております。以上でございます。

座長

それでは 25 ページまでの部分でご意見、ご質問ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

じゃあ、先ず進めたいと思います。

次をお願いします。

事務局(高橋)

では 26 ページをお開き願います。

26 ページは、前回、第 10 回の試案検討会議で委員の皆様にご確認いただいております本日の資料 2 ですね。試案検討会議における建設候補地選定に係る一覧を抜粋したのになります。こちらの説明につきましては、資料 2 を説明させていただくときに改めて確認させていただきたいと思います。

最後に 27 ページをお開き願います。

27 ページは前回、第 10 回の試案検討会議で第 10 回までの意見を踏まえまして、JR 花巻駅前が良いとする意見が多かったことから、JR 花巻駅前の JR 所有のスポーツ用品店の場所を第 1 候補地として、当該土地の買収条件などについて JR 東日本と交渉することを市民の皆さんに意見を伺う説明会を開催してよろしいか、ということで提案させていただきました。試案検討会議の委員の皆さんからは反対の意見はなかったことから、まずは花巻駅前 JR 東日本所有のスポーツ用品店の場所を第 1 候補地として、当該用地の買収条件などについて JR 東日本と交渉する市民および関係団体の意見を伺う説明会を開き、市民の意見集約を図って行きたい旨を記載しております。

以上が資料 1 の説明になります。

座長

それでは 27 ページまでで資料 1 全部であります、質問、ご意見ありますでしょうか。
山下委員。

山下委員

27 ページの建設候補地に関する意見の集約というところで、②の第 1 候補地として JR というふうに記載されていますが、第 10 回の検討会議では第 1 候補とかナンバー 1 とか 2 とかというふうにするのはどうか、と。この検討委員会ではこのように 1 とか 2 とか決定するというような、決定するまでの話ではなかったはずだというお話があったと思いますが、これは JR 東日本と具体的な交渉をするために必ずしもやっぱりこういう条件だということが必要で、このようになったことなのでしょうか。

事務局(高橋次長)

お答えいたします。

試案検討会議の中で委員の皆さんから意見一覧を整理していただいたとおり、「JR 花巻駅前が良い」というご意見が多かった、また、「どちらかといえば JR 花巻駅が良い」という意見が多かった、というふうに事務局のほうは考えておまして、前回の会議で提案させていただきました。先ほど山下委員がおっしゃっていただいたとおり、JR 花巻駅前を候補地とした場合、駅の図書館に必要な土地をまず購入できるかどうかという部分の交渉。まず交渉をしなければ、そこを候補地にもまずできませんので、今回の説明会の意図としては、まず市としては JR 東日本の土地を交渉に乗ってくれるかどうか。花巻図書館の場所としたいので交渉に乗ってくれますか、ということを開始したいという部分の説明会。それで市民のご理解をいただいて開始したいということでお話させていただいております。ですので、どちらかという、第 1 候補地という表現が正しいかどうかにつきましてはまた委員の皆さんからお伺いしたいんですけれども、事務局としては花巻駅前の土地を購入するためのまず前段階に、それに乗ってくれるか。乗ってくれるかというのが正しいかどうかわからないですけれども、JR が交渉に乗ってくれるかどうかというところを開始したいという部分で説明会を、市民の皆さんのご意見をいただきたいというふうにご理解いただければと思います。

座長

よろしいですか。

山下委員

はい。さっきも述べたように、この検討会議では決定する、この検討会の皆で決定する会議ではないというふうにずっと中身については話し合ってきましたね。そういう中で、この

ように条件として挙げられるということは、前々からシナリオがもうすでに決まっておったのではないのでしょうかねえ。その辺はどうですか。

事務局(高橋次長)

お答えいたします。

検討につきましては山下委員がおっしゃっていただいたとおり、第8回から3回にわたって皆さんにご意見を頂戴していたかと思えます。その中で前回、委員の皆様の意見を整理させていただいた中、事務局で整理させていただきまして、全部の意見を確認させていただいて一覧表にさせていただいたと思っております。その中で、どちらかといえば、先ほども申しましたとおり「花巻駅前が良い」という意見だったり、あるいは「どちらかといえばJR花巻駅前が良い」というお声が委員の皆さんからあったことを受けて、事務局のほうで検討させていただいております。先ほどおっしゃったような最初からということではなくて、委員の皆さんの意見の整理の中で、私どもとしては意見を参考にさせていただいて、こういう提案をさせていただいたというふうに理解させていただいております。

座長

よろしいですか。

ほかに。

佐藤委員。

佐藤委員

佐藤です。

今、山下委員のお話のとおりじゃないかなと私は思っております。26ページに委員からこういういろんな意見が出ましたよ、までであって、右側の27ページは「市としては第1候補は、」ということですよ。ところがタイトルを見ると、「検討委員会における意見の集約」となっているので、この27ページは検討委員会で第1候補はここに決めた、というふうに取り残されてしまうのかな。あくまでも委員としていろんな意見を出しました。最終的にその意見を受けて、市としては第1候補はここに決めました、というふうに説明していかないと、ちょっとこの書きぶりだと検討委員会が第1候補を決めたんだろうといふように感じられてしまうのかなというふうに思いますので、その書きぶりなり、もしくはこの体裁とは別刷りにして、26ページまでで終わって、それからもう1枚出す形で説明をされたほうがいいのかと思いました。

座長

はい、ありがとうございます。

事務局(佐々木室長)

はい、この資料をごらんいただいて、今日の会議でご意見をいただいて、さらに修正の上でお示しするという内容にしたいというふうに考えておりました。そのとおりのご意見かなと思いますので、さらに資料の精査を図っていきたいと思います。ありがとうございます。

座長

ほかにご意見、ご質問ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

全体についてでも構いませんが。

佐藤委員。

佐藤委員

すみません、また佐藤です。

全体を通してでもいいということだったので。

14 ページまでで先ほど区切りました。14 ページまでがどんな図書館をつくりたいのかということで、15 ページ以降はじゃあどこにつくるかということが書いています。で、この資料自体は私たちが検討してきたことで、はしょったりすることによって誤解を招いたりするので、丁寧に説明する資料として大事なもののかなというふうに思いますけれども、白岩委員の言うとおり、じゃあこれを見て短時間で理解してくれというのはなかなか難しいので、14 ページまでのところのこんな図書館をつくりたいんだよ、というのを1 ペーパーでまとめられないのかな、というのが白岩さんも言いたいことだったのかなと私は思って聞いていました。それで、その中で中央図書館が必要だよ、中央図書館としての機能なんだよ、だから図書館いらんなんて言わないでよね、その中央館というのはこういう図書館なんだよ、というのがその1 ペーパーに示されれば、見る人はわかりやすく、そう、そう、それなら必要だよ、とそういうわかりやすいものがこれは別刷りで必要なのかな。それがご高齢の方がいるのであればA3版にしてあげたりとか、必要なかなと思っていました。14 ページまでのところで、こんなにすばらしい図書館ができるんだよ、楽しみにしててね、と。それ以降はこのどこにするかは別な問題、議題としてあるのかな、というふうに思っています。以上です。

事務局(高橋次長)

私どものほうとしては佐藤委員が前段にお話しいただいたどのような図書館を丁寧に議論していただいた部分をそのまま書くべきだと考え、この資料を作成しております。1 ペーパーにまとめるという行為自体は私もわかりやすくなるのかなと思いますが、その場合、委員の皆様にもこれらのご意見を頂戴したいのですが、どの部分を残して、どの部分を削除するという部分についてぜひご議論いただければと存じます。事務局としては委員の皆様にかかる時間を頂戴して検討してきた内容を。実は、大部分、項目としては多いんですけども、内容については試案の部分を簡略化させていただいているつもりでございます。その部

分、1 ペーパーとなれば情報量が限られてしまいますし、どこの部分を残してどこを、という部分をもう一度委員の皆様でご議論いただければなあというふうに思いますが、いかがでしょうか。

座長

はい、では今の部分について、まず佐藤委員から。

佐藤委員

すみません、言い出しっぺなので。この資料は当然出すので、本当に箇条書きでよければそんなに文字数としてはなんとかなるかなあと思うんですけども、つくられる方にとってみれば無責任ですけども、いかがでしょうか。で、このことの詳しいことはこっちに書いてあるんですよ、というような使い方なのかなと思いますが、いかがでしょうか。

座長

ほかに。

藤井委員

藤井でございます。今日、皆さんからのご発言を聞き、私も何回か発言をしましてまいりましたが、ここにきていよいよ市民の皆さんに説明する資料をどうするかという大事なところにきているわけですね。大変言いにくいことですが、野球場をつくるとか、学校をつくるとか、農場をつくるとか、公的な資金で花巻の毎年の議会の資料を見ると、いろんな公共投資をやっているわけですね。あれを1つ1つ見ますと、自分で興味のあること、自分が今後どうしたらいいかという方向が見える課題とか、皆さんそれぞれ違うんですね。ですから、図書館についても、先ほど白岩さんのほうから花巻の真ん中に中央図書館とは何なんだ、と。合併した当時に大迫のほうから聞こえてきたと。それは発言することは自由なんです。ただやっぱりここで検討してきた内容も、ある程度やっぱり、県内でも見劣りがしてきた、または建物自体も古くなってきた花巻の図書館を、皆が使いやすいようなものにしていくためにメンバーに選ばれて、私も障がい者団体とか高齢者団体を何回か、このために集まったわけじゃないけれども、いろんな会議の都度、意見を聞いてくると、やっぱり興味のある人は黙って聞くんですよ。興味のない人は、今日は時間がないから藤井さん、やんべにしてくれや、と。本当に、委員の皆さんのいろんな階層があるわけですから、やっぱりある程度図書館を今後自分たちの生活の中に生かしていきたい、今まで以上に多少なりとも生かしていきたいというような方々が皆さん歩みよってご覧になると思うんですよ。ですから、私は14 ページをA3 一つにまとめて、幼稚園の生徒でもぱっとみればわかるようなマンガチックなタイトルにするんじゃなく、やっぱり図書館について興味のある方にちゃんと見てもらおうということで事務局が提示したんだろうと思いますから、私も1つ1つ見ると、俺が話したことの意味がちょっと、というのがあります。ありますが、全体をまとめていく

という会議ですから、そういう立場で議論しませんか。よろしくお願いします。

座長

はい、ありがとうございます。

ほかにご意見ありますか。

白岩委員。

白岩委員

白岩です。私もよく全国の図書館の基本計画とか調べているんですが、概要版というのがあって、例えばA4一枚とかで結構まとめてあるんですね。例えば最初の図書館の将来像とかビジョンと書いてあって、その後方針とかという項目が書いてあって、あとはサービス。サービスとしてソフト面とハード面というので割とA4二枚ぐらいで一目でわかるようにしている。やっぱり先進図書館といわれているところは上手に書いてあるんですよ。図もきちんとして、それは全部を書くのは無理だと思うんですよ。そうやってイメージとして表現するのはできると思うんです。あとは、それと同時に基本計画をきちんともう示す。まだ案ですが、基本計画として、花巻の場合はネットで見れるようになっていきますよね。それをきちんとして市民説明会のときに、基本計画としてある程度完成させたのを配る先からネットで見れるように整理して、用立てて概要版と基本計画の全体を見れるようにして、市民の方が興味を持った方は基本計画の本線、本線というか、全部を見れるようにして、市民説明会なりそういうのをしたほうがいいんじゃないかなと私は思います。以上です。

座長

はい、ほかにご意見、ご質問。ご意見と申しますか、今の意見についてですね。関連するようなご意見お持ちの方はありますか。

はい、小国委員。

小国委員

小国でございます。

市民の方々に説明する場合に、やはり今までの経過とか、長い時間これを検討してきているわけですので、そこいら辺をどうしても説明する必要が出てくると思います。ですから、基本的なこととか、場所のこととか、市民の皆さんは興味を持っているはずですので、ですから資料的にはこれぐらいはやっぱりないと市民が納得できないし、理解できないと思うんです。ですから、これはこれで使って、わかりやすい概要的なものを一枚あれば最初に頭に入れておいて、深くこの資料で説明できるのかなというふうに考えますが、いかがでしょうか。

座長

はい、ありがとうございます。

事務局(佐々木)

今、概要版という形が必要じゃないかというお話を何名かの方からいただいております。14 ページまでのところということになるのかな、と思っておりますけれども、具体的にこの部分はどうしても必要じゃないかというようなところを、もしご提案いただけるのであればそれに沿った形でこちらも 1 ペーパーなりでつくっていきたいと思うのですけれども、その辺をぜひもう少し深く議論いただければ助かるな、と思ひまして、すみません、お願いでございます。

座長

さて、ご意見をお持ちの方はいますか。

藤井委員

ここにいるのは一般市民じゃないんですよね。我々十何回も同じことで討議してきたわけですよね。前もってこの資料をいただいているわけですよ。ですから、改めてここはいるとかいらぬとかというのは、本当は最初のうちに議論が出てしまっているはずだと私は思います。

座長

ほかにご発言の方はありますか。

はい、前野委員。

前野委員

前野です。

一枚、わかりやすい図であったり、ぱっと目に留まるようなものをつくるのであれば、前にいただいていた、一番最初に配布された新花巻図書館整備基本計画試案資料 1 の 12 ページにあるような各図書館のネットワークイメージ図というのがありましたよね。こういうネットワークのイメージ。こういうものを使って、そうすると中央図書館が真ん中であって、そして各部署とこういうネットワークでつながりますということを説明できますよね。図で。そうするとぱっと頭の中に、あ、こういう感じか、というイメージがわきますので、これに付随して細かい部分、例えば小中学校であれば図書室と司書の方が行ったり来たりして、図書の関係をもっと掘り下げて、貸し出しに対してとか、そういうふうな文言をフォローして入れるとか、こっこのほうの今のこの資料でそれを説明していくというふうにしていけば、聞く方もすっと入ってくるんじゃないかと思われま。なので、せっかくもうこういうネットワークイメージ図というのができているので、こういうのを活用して説明にしていけばいいのではないのでしょうか。

座長

はい、ありがとうございます。

事務局(佐々木)

はい、大変参考になりました。そういったものをベースにわかりやすいものということで、十分考えさせていただきたいと思います。皆さんもそんな感じでよろしいのでしょうか。

座長

はい、早川先生。

早川教授

皆さんの意見を伺っていてですね、おそらくこうかな、というのを申し上げます。

新しい図書館ができるときにですね、設計者を選ぶときに、設計提案というのが出てきます。皆さん、もしお時間があれば、先週の日曜日に仙台の隣の富谷市で設計者を選ぶ選定会議が全部に公開されて行われました。結果は出たんですが、ただその後に最初に残った5社の設計提案がホームページに出ています。で、それを見ると、今、各委員さんがおっしゃった概要版、僕はA3一枚ぐらいが妥当なのかなと思うんですけども、これに基本的な考え方ですね。あとは非常に良い手だと思ったのが佐藤委員ですね。こんな図書館ができるんですよ、皆で楽しみにつくり上げていきましょう、というのがでると一番良いと思うんですけども、その後は基本方針ですね。サービスの基本ですね。あとは先ほどの中央図書館の機能はやっぱり必要だと思います。そういうふうにしていくと優先順位はつけやすいかなというふうに思います。僕は検討経過は本当にかいつまんで良いと思います。なぜかという、これがあるので。概要版。これが十分にありますので、そういう考え方でいけば十分A3で、だれが見てもわかりやすいものができるかなというふうに思います。いろんな設計提案書もオープンになっているのが多いので、それが参考になるのかなというふうに思います。

もう1点。計画室に申し上げるのですが、白岩委員から、3つも図書館があるので花巻にはもういらんんじゃないか。これは想定しておいたほうがいいと思います。その質問に対して。僕の拙い経験からですね、説明会を開くとそれが出ないというのは珍しいんですよ、実は。なぜか。図書館の捉え方というのは人それぞれなんです。先ほど藤井委員からもありましたけれども、体育館をつくるというのであれば、なにをやるか、だれでも目的は一致するわけですよ。陸上競技場をつくる。博物館をつくる。ところが、図書館というのは、人によって捉え方が様々なんです。勉強する場所だとか、一部の活字好きな人だけが行くところだろうというイメージを持っていらっしゃる方も。市民説明会とかに行くと必ずそういう意見が出てきますので、それは計画室としては、熊谷委員がおっしゃったようにもう限界だと。今の建物ではね。当然新しいものをつくり上げていくんだというようなところは想定されていたほうがいいかなと思います。

もう1つ。計画室。なんでこんなに大きい図書館が必要なんだ、というのもおそらく出るかなと思います。3つの館をネットワークして1500平米でできるんじゃないかというような質問も想定はしておいたほうが良いと思います。これにすごく詳細な説明があるので。あとは委員の皆さんから出たこんな図書館にしたいというようところが参加された方に伝わるというのが一番大事なところかなというふうに思いますので、そのことだけは計画室のほうの参考になればと思います。

まあイメージというのは大事ですからね。難しいところではあるんですけども。以上です。

座長

はい、ありがとうございます。

それでは皆さんのご意見を参考にさせていただいて、ということですね。ありがとうございます。ほかにご意見は。

はい、堀合委員。

堀合委員

堀合です。今までこの会議でたくさんの意見を言わせていただきました。サービスについて、それから建設候補地について、ですが私の中では、どちらも財政的な面までも考えての発言ではありませんでしたので、ここから先は、例えばJR東日本と交渉に入った後、購入費用がどれだけになるかわかりませんが、それからサービスについてもどこまでのサービスができるものなのか、ということをして、花巻の財政を考えて市民の皆さんが納得する良い方向に決めていただければなど、そう願っております。以上です。

座長

はい、ありがとうございます。

事務局（佐々木室長）

これまでも、例えば運営費とかですね、これからの財政規模のようなものにつきましても、予めお示ししながらこの会を進めさせていただいていたと思いますし、それについてもやはり市民の方々からご理解が必要だと思っておりますので、そこも含めて。今回はあくまでもこの場所をどうするかという部分の説明会ということになりますし、その後また基本計画の市民参画というものがその後にもまた必要になってくると事務局では認識しておりますので、その部分でもさらに市民の方からご理解をいただくというところがあります。

そういう課程を経た中で、建設費なりランニングコストなりという部分についても精査してお示しできるものをつくりながら進めていきたいと考えております。以上です。

座長

ほかにご意見、ご質問ありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは次に進めたいと思います。

事務局（佐々木室長）

今までこの資料 1 の検討経過から場所についての資料についての説明でした。その次につきましては、すでにお手元にお送りしております資料 2 についてということで、若干説明をさせていただきたいと思います。

資料 2 につきましては、新花巻図書館の建設候補地選定に係る、これまで皆さんにご議論いただきました検討の経過というもので、その内容について 8 回から 10 回までの部分ですね。整理させていただいております。整理にあたりましては、読みやすくするために正確さを損なわない範囲で部分的に文章の整理なども行ってございます。事前にそうさせていただいていましたので、ご自分の発言内容についてご確認いただいているかと思っておりますけれども、まずはこの説明の前に、改めてご自分の発言のところをご確認いただければと思います。お願いいたします。

座長

それではこの資料 2 について、皆様方の発言を要約した形で整理したものでありますが、ちょっと違うとか、何かもしありましたら。これに基づいて先ほどの資料 1 の 26 ページに載っているという形になっていますので、先ほどの資料 1 についてはご覧いただいたと思っておりますけれども、その基にしているのはこの資料 2 だということですので、何かご異議とかありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

はい、では次に進みたいと思います。

事務局（高橋次長）

では資料 2 につきまして説明させていただきたいと思います。

第 10 回の会議において皆さんにも確認していただきました一覧表に、さらにいただいた意見を追加したものになります。作成にあたってはですね、前回までは意見の区分として「まなび学園周辺・旧花巻病院跡地を希望する意見」「JR 花巻駅周辺を希望する意見」「どちらかという J R 花巻駅前を希望する意見」「その他意見」の 4 区分として整理しておりましたが、第 10 回会議において、「どちらかというまなび学園を希望する意見」があったことから、もう 1 区分追加して 5 区分とさせていただいております。

内容につきましては、今ご確認させていただきましたが、合わせて、先ほど座長が話したこの資料につきましては、26 ページに抜粋したものを記載しております。

ここも確認ですが、皆さんからご意見を頂戴したところなんです、市民説明会の際にこちらの資料 2 の取り扱いについて、例えば参加者へ配布してよろしいかとかですね、皆さ

んのお名前の部分をそのまま掲載してよろしいかという部分につきましてご意見を頂戴できればと思います。以上でございます。

座長

資料2も説明会の際に配布すべきかどうかというところですね。抜粋してこの資料1の26ページに書いておりますけれども、抜粋しているわけで、全て入っているわけではな部分がございます。なので、これまで出したほうがいいのかどうかというところを皆様からご意見をいただければというところであります。

いかがでしょうか。藤井委員。

藤井委員

個人情報なんですよね。建設予定地のところでも私は障がい者団体を代表してと発言していますので、そのまま出していただいてもかまいません。やっぱり自分の出身団体とか自分が育ってきた地域とか、そういうことがわかっているの発言というのは結構市民の皆さんは注目するんじゃないかなというふうには考えます。以上です。

座長

ありがとうございます。ほかにご意見の方は。高橋委員。

高橋美香委員

私としては、名前は載せないでほしいです。突然意見を求められて、話がまとまらず申し訳ないような個人的な意見だったので、ちょっとそこは遠慮させていただければな、というところでは。

座長

はい。佐藤委員。

佐藤委員

会議自体は公開でしているということで毎回やっているの、だれがどんな発言をしているのか公開されているものだと私は思っていましたので、氏名を公表してもいいかなと思っています。あとはちょっと中身について修正する部分はあってもいいのかなとは思っています。

事務局（高橋次長）

佐藤委員から今お話がありましたとおり、今までの会議10回までやっておりましたが、10回までの議事録につきましてはお名前を付した状態でホームページでは公開している状態です。ですので、佐藤委員のお話があったとおり、どの方がどういうふうな発言をしたか

というのは議事録では確認できる状態になっております。

座長

小国委員。

小国委員

小国です。市民の説明会ということであれば、この資料に載っているような抜粋で済むのかと思います。資料としてそんなに増やされても見る方が大変だと思うんですよね。ですから、検討会議に興味を持っているわけではないと思いますので、この資料のほうで十分だと思います。

座長

資料1だけでよいということですね。佐々木委員。

佐々木委員

佐々木ですけれども、それぞれ何らかの所以があって、市の図書館を企画するという委員に名前を連ねてこれまでも発言をしているわけで、かなりいろんな議論が出てきたので、煮詰まってきている部分を、これを見るとだれがこのような意見を言って、ほかの方たちも意見を言ってくれているし、その結果10回を経て今があるので煮詰まってきたんだというプロセスがこれを見るとかなり理解できるので、私は基本的には公開すべきだなと思います。

名前についても、立場上勝手な意見を述べられては困るので、一委員として述べていただいているので、基本的には公開にすべきだろうと思いますけれども、嫌だという方は伏せなければいけないだろうと思います。以上です。

座長

はい、ありがとうございます。ほかにご意見の方は。福盛田委員。

福盛田委員

私はやっぱり公開するときは名前は伏せたほうが良いと思います。というのは、新聞なんかの投書にしても、いろんなバッシングがきたり、いろんなことも考えられます。反対しているそうだからなどと言われて、こういう個人の名前になっていると、いろんな電話がきたり、ネットでやったり、いろんなことが盛んに出てくる可能性もありますので、この辺は慎重を期したほうが良いと思います。

事務局（高橋次長）

ありがとうございます。

今いただいたご意見を加味させていただきますと、この資料自体は検討のプロセスがわかっているのではないかとこの部分がございますので、ただ名前の部分ということがございます。市民に配布する際には、名前をどうするかという部分をもう少し私ども事務局のほうで考えさせていただければと思います。

一方で、先ほど申しましたとおり、今回の試案検討会議の議論についてはホームページでも最初に確認しているとおりに公開としているものですから、公表になっている部分がございますので、その点はご了承いただければと思います。

座長

白岩委員。

白岩委員

白岩です。個人的には名前を出してもらってもいいと、私は個人的にはいいです。私たちのグループは市民グループで、目的としては図書館に関して勉強しましょう、勉強したり理解を深める、図書館の良さを話し合ったりするという趣旨がありまして、ホームページをつくったり、ニュースレターをつくったり、連絡先は私のほうで電話番号をやったり広報に載せたり、あちこち名前を出しているんですけど、思ったほど来ないんですね。案外来ないなど。仲間を増やしたいんだけど、なかなか集まらなくてだんだん減っていくという。だから、できれば名前を出してどんどん、どんどん来てほしいなど。ぜひ私も出してほしい。できればですね、市民説明会がある場合は、私たちのいろんな資料をニュースレターとか出しているのをPR用に置かせてもらって名前を売りたいなど思っているのです、そういうのを許可していただきたいと思います。以上です。

座長

はい、ありがとうございます。ほかにご意見ありますか。

白岩委員

続けてなんですけど、市民説明会で説明するとき、まなび学園周辺とか駅周辺とすると思うんですけど、市民の方々が判断しやすいように、メリット、デメリットを。駅前だとかいうメリットがありますよとか、デメリットがありますよとか出して、そうすると自分が考えている以外にいろんなメリットがあるんだなと気が付く。そういうのを挙げて提示したほうがいいんじゃないかなと思います。以上です。

事務局（佐々木室長）

白岩委員。今回、市民説明会ということでお話をさせていただきますと、今までのところの議論の中で、それぞれの候補地の中のメリット、デメリットというものについてはそれぞれお示しをさせていただいてご説明してきたという流れの中でございます。この資料の

中の検討資料、それぞれの場所の検討資料の部分にも概要としてその部分は載せてございます。その中から、今議論しているといいますか、事務局のほうでお示ししている内容につきまして、駅前のスポーツ用品店の場所を第1の候補地としてJR東日本と土地の買収について具体的な協議を進めるという案について市民の意見を伺うということのなかのこの資料をつくっているというものでございまして、駅前のスポーツ用品店の場所に建設する場合、JR東日本からは所有土地の売買の協議に応じるということは可能だということで、花巻市が建設地の絞り込みができないうちは具体的な交渉はできないと言われておりますことから、この内容について市民にご説明するというものですので、概要としましてはこの資料には入ってはございますけれども、ご説明したい趣旨については、最後の資料の27ページのところで、これまでこういう議論をしてきたけれども、こういう内容について市民の方にご意見を伺いたいということで進めたいと考えてございます。少し説明になっていないかもしれません。よろしく申し上げます。

座長

よろしいですか。ほかにご意見、ご質問ありますか。

それでは今日の資料につきましてはよろしいでしょうか。先ほどの資料2について名前をどうするかというのは決められない感じではありますけれども、事務局で少し検討しなければいけないかなと思います。ただ、これは皆さんの発言ですので、皆バラバラにするわけにもいかないですし、統一感もあるでしょうし、そこは検討させてください、ということでもいいですか。

それでは次をお願いします。

事務局（佐々木室長）

それでは、改めて市民説明会という部分についてのご説明をさせていただきたいと思っております。改めて資料をお配りしたいと思います。

この市民説明会の具体的な内容ということになります。例えば配布した資料につきましては、先ほどちょっと白岩委員への回答で説明しましたので重複になるかと思うんですけれども、花巻駅前のJR所有のスポーツ用品店の場所を第一候補として土地の買収条件などについてJR東日本と交渉することについて、市民および関係団体のご意見を伺うという内容の趣旨の説明会となっております。開催日時および開催場所につきましてはこのとおりということになります。花巻地域11回、大迫、石鳥谷、東和は各1回。そのほかに市内全域の方々を対象としたもの、それからオンラインで行うというようなことで進めていきたいというふうに考えてございます。

それに加えて、前回の会議で、たしか前野委員だったと思うんですけれども、どんな年齢層にも届くような説明会が必要じゃないかというご意見をいただきました。それを考えまして、設定としましては市民全体を対象とした説明会、これとは別に22歳以下を対象とした説明会というものを考えてございます。場所としてはなはんプラザ、あるいはオンラ

インで各1回開催するという計画としております。

開催場所についてはこの資料のとおりでございますけれども、各振興センターあるいはまなび学園、なはんプラザのほか、図書館を今利用している方にも参加していただきたいという思いもありましたので、花巻図書館でも開催するというところで考えてございます。

説明内容につきましては、先ほど確認いただいた、基本的には資料1と、それから2についてはこちらでさらに検討した上でお出しするということになるかと思っておりますけれども、その内容で説明する予定としてございます。

この説明会の開催の周知につきましては、市の広報で掲載するというほかに、市のホームページあるいはSNSなどでも行う、と。そして、ポスター、チラシなどもつくりまして、市の各施設で配布をするということを予定してございます。若い世代にもぜひ知っていただきたいということがありますので、市内の高校あるいは富士大学にポスターの掲示あるいはチラシ等を貼るという予定でございまして、市内で活動している学生団体等がございまして、そちらにも周知を行っていきたいという内容でございまして。

なお、説明会へ頂戴したご意見等につきましては、それぞれの回を報告するという形ではなくて、各回の意見を整理の上、まずはこの試案検討会議においてこういうご意見があったということをご報告させていただきまして、その上で市のホームページ上で公表するということを考えてございます。

ここまでのご説明のところでご意見をいただければと思います。

座長

はい、ありがとうございます。今の市民説明会の開催の案について、ご質問、ご意見ありますでしょうか。

はい、福盛田委員。

福盛田委員

この各地区での説明会ですが、これは何時間ぐらいの予定で考えていますか。

事務局（高橋次長）

時間に関しましては90分ぐらいかかるかなと思っておりますが、時間帯的に夕方から夜の時間になりますので、できるだけ短い時間でやっていきたいと考えております。

座長

ほかに質問、ご意見ありますでしょうか。はい、山下委員。

山下委員

先ほどの段階では、第一候補としたいので、というところは、検討会議の中でそう決まったかのような表題ですよね。JR花巻駅周辺スポーツ用品店を建設場所の第一候補地とした

い旨。ここは第一候補、第二候補と検討会議で確かに言われました、というのとは全く逆なお話だったんですが、これは一番最初はやっぱり JR 東日本と話を進めるためにどうしても第一候補は JR 花巻駅スポーツ店敷地に建設候補としたい、これが第一候補だというふうなことですよね。先ほどの説明というか、このところは矛盾すると思うのですが、どうでしょう。

事務局（高橋次長）

先ほど佐藤委員からお話があったとおり、27 ページのタイトルの表記の仕方に対する質問かと理解しています。佐藤委員からご指摘がありましたとおり、ここにつきましては表記の修正を考えております。おっしゃっていただいたとおり、26 ページまでは検討の経過を書いております。それを受けて市としてはこういう結論で、まずは JR と協議をさせていただきたいという説明にさせていただきたいと思っておりますし、それを受けて、今渡しました開催要綱案につきましても同じような表記というふうになっております。

座長

よろしいでしょうか。

事務局（佐々木室長）

ちょっと加えさせていただきますと、目的のところかなと思っております。山下委員のご発言ですけれども。検討経過を踏まえるということになります。この会議で決めたということではなくて、現在までの検討経過を踏まえたというのが一つです。そしてその後 JR 花巻駅周辺のスポーツ用品店の敷地について建設場所の第一候補地とするという部分は、やはりこの検討経過を踏まえた上で説明会を開く段階でこちらでこのような形で進めたいということでの記載ということになると思っておりますので、ご理解をいただければ、と思っております。

座長

はい、ほかにご質問、ご意見ありますでしょうか。白岩委員。

白岩委員

白岩です。

今回の市民説明会は、あくまでも駅前に建てること、建てたいということについての説明であって、まなび学園周辺については触れないということですか、今回は。私はてっきり駅前とまなび学園の二つの案の説明をするのかなと思っていたんですけど、その辺ちょっとわかりやすく説明してください。

事務局（佐々木室長）

今、お手元にお配りしております資料につきまして、建設候補地の検討経過ということに

なります。15 ページからのところですね。こういった資料もお示しした上で、もちろんこの中にはまなび学園の周辺の候補地という部分も検討してきたという内容についてお示ししてご説明をするということも含まれてございますので、それを踏まえた上で、市としては JR の花巻駅周辺のスポーツ用品店の場所としたい場合に、交渉をする必要があるのですが、その交渉をしたいがために、ここを第一候補地としたいということの説明ということになるかと思えます。

白岩委員

ということは、この説明会の目的は、JR と交渉をするための後ろ盾として市民に説明をしていますというお墨付きというか、それを得た上ではじめて JR と交渉できる、交渉する力になるという目的でやるということによろしいですか。

事務局（佐々木室長）

はい。図書館を建設するためには候補地が必要になってきます。その中で、これまでいろいろな議論をいただいた中で、JR 花巻駅周辺のスポーツ用品店の場所について建設候補として相応しいのではないかなというご意見が、ご意見の中身としては多かったという部分をいただいております。ただ、それを進めるためには、まずは土地を確保するといいますか、JR との交渉が必要になってくるという部分がありますので、それがないと進まないですし、もし仮にそれができなかった場合については、別の候補地を考えていかなければならないということが当然出てきまして、そうなってくれば別の候補地はどこにするかと、また戻って考える必要が出てきますので、先ほど来お話しておりますとおり、JR の用地の交渉をするという部分がありますので、まずはここを第一の候補地として進めていきたいけれども、市民の皆さんはどのように考えるかという部分をお聞きした上で進めていくという内容でございます。

白岩委員

例えば 10 カ所以上説明しますね。説明しますよという説明をした後に、市民の方から「いや、ここがいい。ここがいい」とか、「まなび学園がいい」とか、「元の図書館がいい」とかいろんな意見が出て、一応花巻駅東口に説明しましたという実績づくりのためにやるといように私は取れるんですけど。

で、それで結局交渉ができなければまた別に考え直すということ、何のためにこんな議論を、市民説明会をやるだけの、ずいぶん回りくどいというか、市民を集めて、また市民の方からまだ決まっていないのかって、本当に一部の方からまだ決まらないのかって言われるのもあって、またそれで振出しに戻るのであれば先行きがちょっと不安な感じがするんですけど。私はそう思っています。

事務局（佐々木室長）

今、反対意見があった場合はどのようなことになるのかというご意見だったかと思いますが、必ずしも、あくまでもこれはまだ決まっていけないものです。何度も申し上げますけれども、必ずしも駅前スポーツ用品店敷地に拘るということではありませんが、説明会を開催した結果、駅前スポーツ用品店敷地とは別の候補地を望む声が多かった場合につきましては、ほかの建設候補地を含めて検討するというのも、先ほど申し上げましたが、必要だということになるかと思えます。市が駅前スポーツ用品店の場所に図書館を建設する場合に、先ほどから何回もお話してはいますが、JR 東日本からは所有土地の売買の協議に応じることは可能であるけれども、花巻市が建設地の絞り込みができないうちは、具体的な交渉にはならないだろうと JR のほうから言われてございます。そのために建設候補地について必要な市民のコンセンサスが得られないような状況につきましては、具体的に JR と交渉ができないという状況になってございますので、こういった議論を経た上で JR 東日本所有のスポーツ用品店の場所がいいだろうという意見が多かったという内容の議論がございましたので、そこでこの交渉を進める前段階として市民の皆様からのご意見を賜りたいということが今回の説明会の趣旨でございます。

座長

よろしいでしょうか。白岩委員。

白岩委員

わかりました。市民のほうからしたら、もういい加減図書館どこにつくる、という期待で行く方が多いんじゃないかなと思って。その辺ははっきり JR と交渉する準備段階のため、というのをきちんと説明しないと勘違いする方が多いんじゃないかと。

座長

つまり先ほど室長が言ったとおり、JR ではここを図書館にしますよということを市が決めてもらわないと交渉できないわけですね。それはご理解いただけますか。

白岩委員

ええ、まあ。7月ごろですか、私たちは市長のほうに、もうトップで、市のトップで決断してくださいという要望書を出しているんですよ。それを出していればいいんじゃないかなと私は思っていたんですけど、それをまた交渉するために市民の後押しをもらうためにするのは回りくどいのでは。

座長

白岩さん方の団体からは要望をいただきましたけれども、それが全ての市民ではないわけですから、それについて皆様方に、これまでの図書館を検討してきてこんな図書館ができそうです。場所は第一候補地としてここを考え、JR と交渉していきたいんですがどうです

か、というのを丁寧に聞いていきたいと。説明していきたいというものですので、もういいんじゃないか、と言われても、それは皆さんと議論はしているんですけども、一般の市民が確かにわからない部分というのがあると思うので、それを少し時間がかかりますけれども、丁寧に説明していきたいというものでございます。

早川先生。

早川教授

僕のほうからよろしいでしょうか。まず計画室に、この目的の書き方なんですけれども、整備状況の説明会ですので、書き方として、この検討委員会でも、要するに、どういう図書館にしていくんだというのにかなりの時間を割いてきているわけですね。それを文章に書いて、で、図書館を実現するためには用地を決めなければいけないので、そういう書き方のほうがいいかなと。用地を決めるためだけに、俺たちの反応伺うためだけに開いたのか、というのはやっぱりちょっと心象的にはマイナスになるかなと思いますので、委員会で、あとはワークショップでもこんな図書館にしたいからこういう土地が妥当なんだというふうな議論を何回もしてきましたけれども、そういう書き方のほうが妥当かなと思います。

あと、JR と交渉するために、というのは内輪の事情的なことですので、これも書き方をもうちょっと検討したほうがいいかなと思います。

で、今回のこの市民説明会についてはかなりの前進じゃないかなと思います。用地も示すわけですし、内容も委員の皆さん方に参考意見をいただいてここまでまとめ上げましたので、いよいよこれで具体的に前進を見れるというところまでできましたので、そういう意味では計画室はかなり、先ほどお話したように予想外のご意見もくると思います。関心のない方は来ませんので、関心があるがゆえに図書館の捉え方が違っているといろいろあると思いますので、そういうことを含めて、ちょっとこの目的はもう少し整理されたほうがいいかなと思います。以上です。

座長

はい、ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問は。

はい、小国委員。

小国委員

小国です。実は先ほどの早川先生のお話と同じことを言いたかったのですが、市民説明会の目的としては、この内容はちょっと内部すぎるかなと。あくまでもこの資料の説明をするわけですので、図書館をつくるためにここまで進んでいますよ、こんな図書館になりますよ、というところを市民の皆さんに示して、ここまで進んでいて、駅前のところまでできています。で、皆さんどうでしょうか、という形でいいと思うんですね。それが目的だと思うんです。で、目的のどこか隅っこに第一候補とか、JR との交渉ですか、そんなのが入ってもいい

いと思うんですけども、やっぱり目的は中間報告的なものなのかなと感じます。

座長

はい、ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問ありますか。佐藤委員。

佐藤委員

今、早川先生、小国さんのお話をまた踏まえてしまいますけれども、先ほどの佐々木室長がこういう言い方をしました。私の聞き間違いであれば申し訳ありません。まず建設候補地についての説明会なんだと。その後に基本計画についての説明をするんだ、というような言い方をされたのかなと思って、あれ、と思ったんですね。

で、今日のこちらの次第を見ると、新図書館整備に係る市民説明会と書いてあって、だからこそ概要版のワンペーパーを作ればいいんじゃないでしょうかという話をしたところ、こちらの5ページのほうの今日の第11回のほうには、候補地の市民説明資料についてとある。候補地についての市民説明会なんだなということで、書きぶりが齟齬があるのかなと。そういうシナリオだったんですね、と。山下さんの言葉じゃないんですけども、これってちょっと発言や書きぶりが違ってくると不信感を招いてしまったりするのかなと思って、今回のこれは全てにおいての説明会、この開催要項の4番の説明内容を見ると、候補地のみならず全てにおいてきちんと説明をしますよということで確認よろしいでしょうか。

2つ目ですけども、今回かなりの回数丁寧に説明をされるということなんですけれども、これについては回答は求めませんが、全て生涯学習課が一手に引き受けてやるのでしょうか。というのは市として候補地を選定したということになってくれば都市政策課ですか、ほかの課も関わってきての説明が求められたりするのかなということもありまして、生涯学習課だけでは大変だな、と。図書館の機能や必要性については胸を張ってご説明ができるんでしょうけれども、それプラスアルファについては関係各課も必要なかなと感じたところです。この開催要項には市のほうの出席者がいないので、ちょっと確認をさせていただきました。以上です。

事務局（高橋次長）

ありがとうございます。開催要項につきましては、本当にたたき台としてご意見をいただくためのものであり、今のご意見をいただいて、修正させていただきたいと思えます。

ただ、その中で今佐藤委員からお話があった部分でいいますと、説明については図書館計画室で行う予定でございます。なぜかと言いますと、佐藤委員が先ほどおっしゃっていただいたとおり、こういう図書館がほしいのという議論をしていただいた中で、こういう候補地にしたいという説明会ですので、この候補地の選定についてという形になりますと、私たちは一生懸命検討会議でご議論いただいた内容を整理したりしていますので、私たちが一番説明できるというふうに考えており、私たちがすべきだと考えております。ですので、この部分については私たちのほうで説明させていただくということで、今回、いろんな議論

をしていただければなと考えております。

早川教授

佐藤委員がおっしゃった意見と、計画室への支援を含めての意見だと思うのですが、僕は非常に大事だと思うのですが、はっきり申し上げます。市の本気度を示すために、どの人がこの説明会で事務局側に立つのか、という意味も含まれているのかなというふうに思います。市として行う事業ですので、どういう方が事務局に参加されるのかというのも、佐藤委員そういう意味に受け取ってもよろしいですか。ちょっとそういうことも考慮したほうがいいかなとは思いますが。できるできないは別ですけどね。ここまでやってきて、市全体の支援が計画室にもう少しあってもいいのかなという意味です、僕の言っているのは。それができないは別です。以上です。

事務局（佐々木室長）

先ほどの佐藤委員のほうから説明会というところで私の発言というところがございました。今までこの試案検討会議で議論してきた内容について、資料 1 というところにすべて書いているという説明をさせていただきました。基本的には今回の市民説明会についてはこの内容について、相当ボリュームがありますので、若干はしよった内容になるかと思いますが、説明をしていきたいと。で、そこがどうなのかという話もありますけれども、JR 東日本と交渉するという部分はやっぱり外せないところでございますので、この流れを説明した中で、そういった部分も説明していくということになります。

先ほど私が最後に、市民説明会を行いたいと。基本計画の市民説明会を行う流れになるという話をしましたけれども、これにつきましてはこの説明会が終わった後に、さらにこの検討会議なりの場で基本計画というものを、最後は市がつくっていかなければなりませんので、その基本計画、今まででまだ議論の途中になっている部分、例えば開館時間とか蔵書とか、そういった部分も含めてある程度この検討会議の中で議論いただいた上で、その上でまとまった基本計画案を作った後に市民参画が必要になるという部分ですので、そのときの中の説明会という意味ですので、市民参画の一つの手法としての説明会ということですので、今回の説明会とはまた別にそこが必要になってくるという認識でありますので、そこはご理解をいただければと思います。また、だれが出るの、と言われましたけれども、今、図書館計画室という組織がございまして、市川部長以下で図書館の計画、運営についての事務局をしております。その中に、実は建設部の職員も兼務発令ということで入っております、ここにもおりますけれども、建設関係の部分についても協議をしながら進めておりますし、当然建設部とも内容について議論しながらそれを進めているという状況でございますので、そういった部分も含めて参加者を検討していきたいと考えてございますので、その点についてもご理解いただきたいと思っております。

座長

ほかにご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ありがとうございました。今の段階での予定でありまして、若干日にちや時間が何か会場の関係でずれるかもしれませんが、概ねこの日程で進めていきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

事務局（佐々木室長）

それでは次回の日程でありますけれども、この要綱案の中でも市民説明会が一応今の日程としまして10月7日までの開催と予定してございます。先ほども申し上げましたとおり、説明会で頂戴したご意見等については、整理の上、再度この試案検討会議のほうでご報告をさせていただき、その上で市のホームページ等で公開するというにしていきたいと考えてございまして、次回の会議日程につきましては、10月下旬になるのかなというところで改めて調整のうえ、委員の皆様の確認をさせていただきたいと考えてございまして、今日、頂戴しました課題は、この資料について考える部分とか、開催要項の部分ですね。これにつきましてはちょっと会議を開いてお示しするという形は難しいかと思っておりますので、事務局のほうである程度作成したものについて、個別に送付させていただきまして、ご意見等賜ればな、ということを進めていきたいと思っておりますので、その際にはまたご協力をお願いしたいと考えてございます。

以上でございましてけれども、皆さんのほうから何かご意見等ございましてでしょうか。

白岩委員

白岩です。市民説明会が9月20日ということは、結構時間がありませんよね、日にちが。で、広報だと9月15日で5日しかないとか、いつも、申し訳ないけれども、図書館関係さんのイベントはすごくPRが短い期間でイベントをやっているの、なかなか見つからない場合があって、それで人が少ないとか、参加者が少ないとか、結構ある気がするの、どういうふうにしてこれは周知するのか。広報だと5日しかないし、広報はたしか今から申し込んでも9月15日には間に合わない。たしかそんな感じで私も前にあったので、どういうふうにして周知させるのかちょっと心配になって、だれも聞いてないから集まらないということにならないようにしてほしいんですけど。どうでしょうか。

事務局（佐々木室長）

先ほども申し上げました、説明会の周知につきましては、まずは9月15日号の市の広報に掲載したいと。それから市のホームページ、SNS等になりますし、ポスター、チラシなどをつくりまして各施設に配布をしたりと考えております。振興センター等も含めてですね。その際には職員が行って、こういうことをやりますということでPRをやりながらそこを進めていきたいというふうに考えておりますし、若い世代については、高校あるいは富士大学にポスターやチラシをお配りしながら、さらに市内で活動している学生団体等に周知を図っていきたいということも考えております。そんな形でPRを、時間がない中ではあります

けれども、進めていければなと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

白岩委員

私の希望としては、花巻図書館でチラシを配るとか、あるいは花巻図書館に行っても新花巻図書館コーナーとかをつくって、そういう掲示、展示コーナーをつくって常にPRをするとか、たぶんないんですよね、ポスター、図書館計画室のポスターはあったと思うんですが、そういう、図書館に来る方にチラシ配るとか、積極的にやったほうがいいんじゃないかと思えます。そうやってなるべく周知して皆さんに関心を持ってもらうようにしていただきたいなという希望です。以上です。

事務局（佐々木室長）

各施設の中に4図書館は入っていますので、PRしていきたいと考えます。

あとはよろしいでしょうか。それでは長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございました。次回は10月下旬ということでまた調整をさせていただきたいと思えます。それでは試案検討会議終了をさせていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。